

令和8年度 地域づくり事業説明会次第

日 時：令和8年3月17日
① 10:00～ ② 14:00～
場 所：真岡市民会館小ホール

- 1 令和8年度事業の概要について
 - ・事業の概要について p 1
 - ・事業の全体における留意事項 p 5
- 2 各事業について
 - (1) 安全・安心の地域づくり推進事業
 - (くらし安全課・危機管理課) p 7
 - (2) 地域福祉づくり推進事業 (高齢福祉課) p 9
 - (3) 地域健康づくり推進事業 (健康増進課) p 14
 - (4) 地域子どもすくすく元気事業 (生涯学習課) p 16
 - (5) 地域道路愛護支援事業 (建設課) p 17
 - (6) ごみ減量・資源化推進事業 (環境課) p 18
 - (7) 自治会活性化推進事業 (市民協働推進室) p 19
 - (8) 特別認定事業 (市民協働推進室) p 21
- 3 交付申請書、実績報告書について
 - (1) 交付申請書、実施計画書(記入例) p 25
 - (2) 実績報告書(記入例) p 34
- 4 質 疑
- 5 閉 会

交付申請書、実績報告書記入例等 目次

◆ 交付申請書、実施計画書

- ・ 交付申請書 p 2 5
- ・ 委任状 p 2 6
- ・ 実施計画書 p 2 7
- ・ ミニデイホーム新規開設・改修事業実施計画書 p 3 0
- ・ 特別認定事業実施計画書 p 3 1
- ・ 役員名簿 p 3 2
- ・ 実施計画事業内容変更書 p 3 3

◆ 実績報告書・領収証

- ・ 実績報告書 p 3 4
- ・ 振り返しシート p 3 8
- ・ 領収書台紙 p 3 9
- ・ 各領収証様式 p 4 0

◆ 地域づくり事業交付金一覧表 p 4 7

令和8年度 地域づくり事業の概要

1 事業の目的

地域のだれもが生きがいをもって安心して暮らせる社会を築くため、市民の創意工夫を基に、市民が主体となって地域づくり事業を推進し、思いやりを育み、誇りと愛着のもてる個性豊かな地域を創造することを目的とする。

2 事業の種類

大事業名	番号	性質	小事業名	事業説明
安全・安心の地域づくり推進事業	1	講話	くらし安全・安心講話	交通安全・防犯・災害・消費生活に関する知識の習得及び意識の高揚に向けた座談会等の開催支援。
	2	活動	くらし安全・安心活動	交通安全・防犯・災害に関する地域の活動を支援。
地域福祉づくり推進事業	3	講話	高齢者たすけあい	高齢者の見守りに関する会議や説明会の開催を支援。
	4	活動	ミニデイホーム運営	75歳以上の方を対象としたミニデイホームの開催を支援。
	5	-	ミニデイホーム新規開設	ミニデイホーム新規開設のためのバリアフリー化改修を支援。
	6	-	ミニデイホーム改修	ミニデイホーム継続のためのバリアフリー化改修を支援。
	7	活動	真岡いがしら温泉招待	75歳以上の方を対象に真岡いがしら温泉へ招待。
	8	活動	敬老会開催	75歳以上の方を対象とした敬老会の開催を支援。
	9	活動	介護予防体操	40歳以上の方を対象とした介護予防体操の開催を支援。
地域健康づくり推進事業	10	講話	健康講話	健康講話の開催を支援。
	11	活動	健康活動	ウォーキングや体操、調理実習の開催を支援。
地域子どもすくすく元気事業	12	活動	子どもお囃子育成	各地区の小学生・中学生等で結成されている子どもお囃子団体を支援。
	13	活動	子どもふれあい	各地区が主催する子どもたちが地域の人々とふれあう活動を支援。
地域道路愛護支援事業	14	活動	道路愛護	地域道路及びその周辺の除草・清掃作業の活動支援。
ごみ減量・資源化推進事業	15	講話	ごみ減量・資源化説明会	ごみ減量・資源化に関する説明会の開催支援。
	16	活動	ごみ減量・資源化啓発活動	ごみ減量・資源化への啓発活動（チラシ配布、看板・ポスター作製等）を支援。
	17	活動	資源回収支援事業	地域で資源の排出が困難な方を支援することで資源収集量を増やす活動。
自治会活性化推進事業	18	講話	女性参画推進会議	自治会での女性活躍推進に向けた会議や勉強会への開催支援。
	19	活動	自治会加入促進	自治会未加入者へ向けた加入促進活動を支援。
特別認定事業	20	-	特別認定事業	①地域の創意工夫を基に企画した事業を支援。 ②他の事業のうち、交付限度額内の実施回数又は回数制限を超えて実施する際の支援。
推進事務費	21	-	推進事務費	会議費用、その他事業推進に必要な経費。

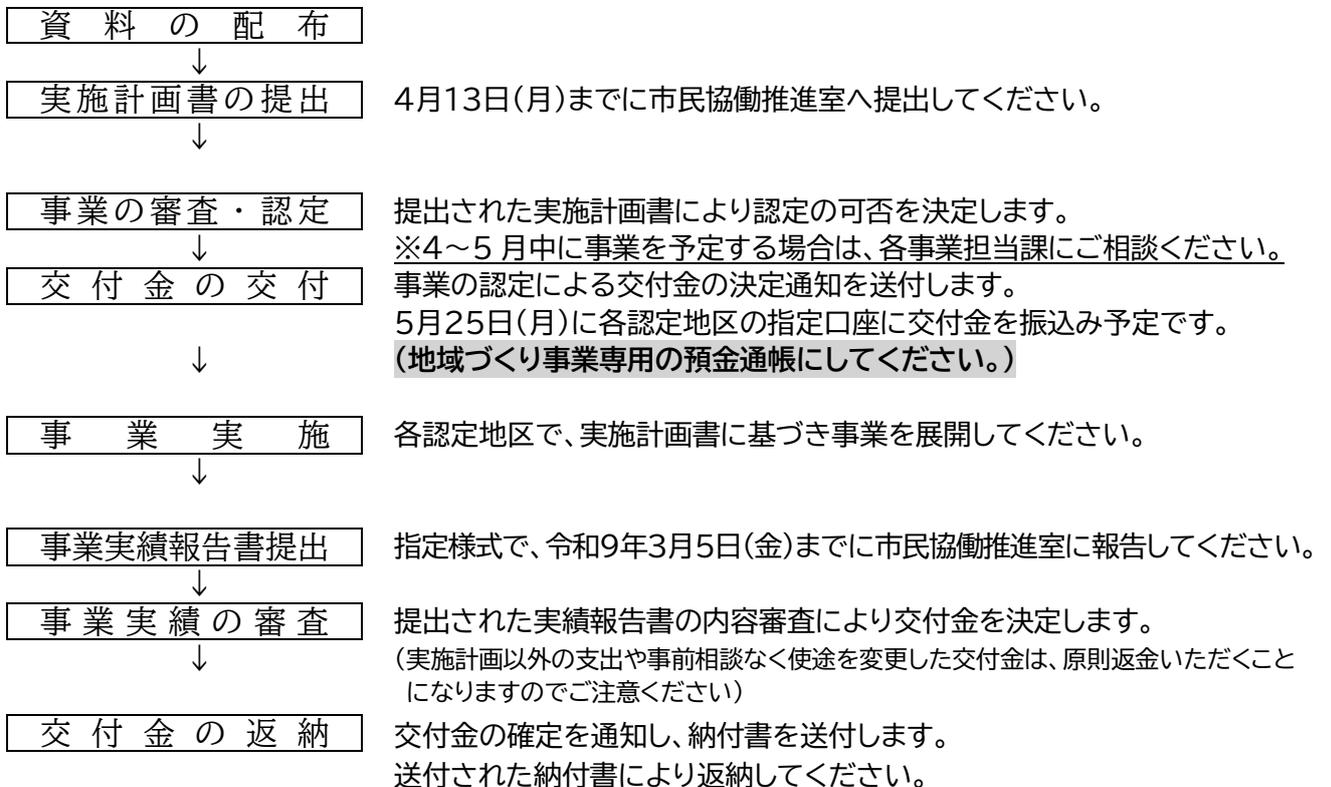
3 事業の予定期間

令和8年度から

4 令和8年度の事業実施期間

令和8年4月1日(水)から令和9年2月28日(日)

5 事業の流れ(手順)



6 申込方法・申込期限

地域づくり事業の申請については、**令和8年4月13日(月)(必着)**までに、次の①の申請書と、②の実施計画書を提出してください。

- ① 地域づくり事業交付金交付申請書 (様式第1号)
※その他の役員がいる場合には(参考様式1号)を活用可。
- ② 実施計画書 (様式第2~4号)
 - 様式第2号 ……必ず提出してください
 - 様式第3~4号 ……該当する事業を実施する場合には提出してください

7 実施計画書の内容を途中で変更する場合

事業の認定後、実施計画書の内容を大幅に変更して実施する必要がある場合には、「実施計画事業内容変更書(様式第5号)」により、事業担当課並びに市民協働推進室と協議してください。原則として、実施計画書に基づかない支出については、年度末の精算時に返金していただくことになります。

8 事業完了後の義務

令和9年2月28日（日）までに事業を終了し、**令和9年3月5日（金）（必着）**までに次の書類を提出してください。

① 実績報告書（様式第6号）

※ミニデイホーム新規開設・改修事業を実施した区は「ミニデイホーム新規開設・改修事業実績報告書（様式第7号）」を提出してください。

② 振り返りシート（様式8号） ※写真1枚以上添付

③ 領収書（原本添付）

小事業毎に台紙を用意、事業名を記載し、領収書をのり付けして提出してください。

・「領収書台紙（参考様式2号）」を活用ください。

・各事業で謝礼等の費用がある場合「領収書様式（参考様式3～9）」を活用ください。

9 申請書類等の提出先・お問い合わせ先

（1）書類等の提出先

市民協働推進室（市役所庁舎3階） 電話83-8141

※ 二宮支所（二宮コミュニティセンター内1階）でも提出が可能です。

※ 申請書は、メールでの提出も可（市民協働推進室：shiminkyoudou@city.moka.lg.jp）

（2）お問い合わせ先

- | | | |
|----------------------|--------------|-----------|
| ① 安全・安心の地域づくり推進事業・・・ | くらし安全課交通防犯係 | 電話83-8110 |
| ② 地域福祉づくり推進事業・・・ | 高齢福祉課 高齢者福祉係 | 電話83-8195 |
| ③ 地域健康づくり推進事業・・・ | 健康増進課 健康づくり係 | 電話83-8122 |
| ④ 地域子どもすくすく元気事業・・・ | 生涯学習課 青少年係 | 電話82-7152 |
| ⑤ 地域道路愛護支援事業・・・ | 建設課 管理係 | 電話83-8147 |
| ⑥ ごみ減量・資源化推進事業・・・ | 環境課 ごみ減量係 | 電話83-8126 |
| ⑦ 自治会活性化推進事業・・・ | 市民協働推進室 | 電話83-8141 |
| ⑧ 特別認定事業・・・ | 市民協働推進室 | 電話83-8141 |
| ⑨ 推進事務費・・・ | 市民協働推進室 | 電話83-8141 |

10 申請書類等のダウンロードについて

申請書類等の様式は、真岡市のホームページでも公開しています。必要に応じて、ダウンロードして使用してください。

●ダウンロードの仕方

- ① 真岡市のホームページ (<https://www.city.moka.lg.jp/>) にアクセスし、下図の「ページ ID から検索」に「5626」を入力し、検索してください。



- ② 必要な資料を選んでダウンロードしてください。

事業全体における留意事項について

① 推進費について

- ・「推進費」については、「事業推進に必要な経費」とし用途については限定しません。
(その用途は地区の裁量により決定していただきます)
- ・領収書が添付できないような用途の場合には、区長の支払い証明でも可とします。

【活用イメージ】

例)参加人数50名、推進費10,000円のうち5,000円分は座談会の参加者のお茶代として、残りの5,000円は別の用途で活用
⇒【別の用途】の例)・事業の運営に携わった方へのお弁当代等への充当 等

例) 【交付申請時】

参加予定人数 50人で申請
推進費200円×50人=10,000円

⇒

【事業実施時】

実際に参加した人数 30人
推進費200円×30人=6,000円

この場合、交付金を使用できる金額としては6,000円になります。

- ・推進費について



注意

交付申請時…200円×「参加予定人数」で算出し実施計画書作成

実績報告時…「実際に参加した人数」を実績報告書へ記載(金額は自動計算)

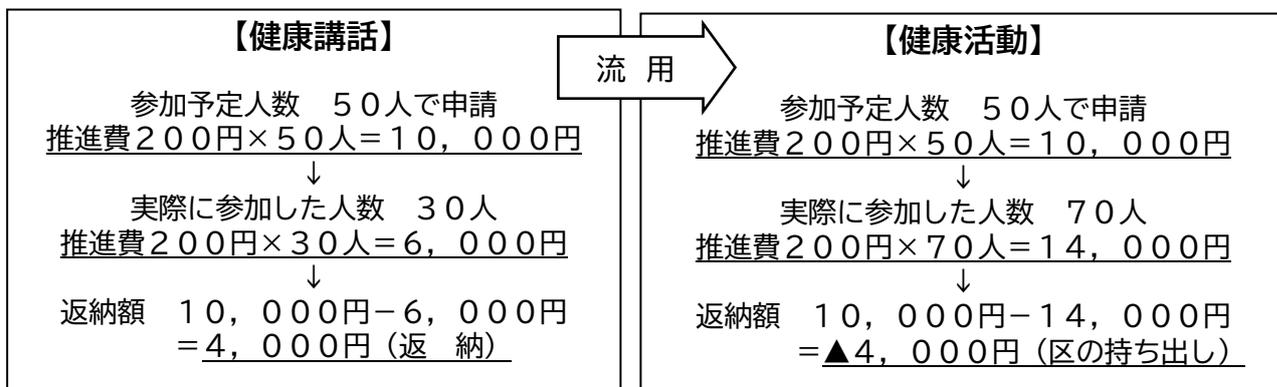
② 交付金の流用について

- ・大事業内での流用を可とします。ただし、各小事業の限度額及び小事業における1事業あたりの限度額を超える流用は認められません。

(流用とは、本来の目的以外の用途に交付金を使用すること)

- ・1人あたりの基準額を増額するための流用や、流用を前提とした事業計画は認められません。

【従来での事例】



この場合、健康講話事業では4,000円の返納、健康活動事業では4,000円の区の持ち出しとなっていました。こういった事例について地域の負担を解消するために流用を認めるものです。

※流用を検討する際には、事業実施前に担当課にご相談ください。

③ 地域づくり事業の合同実施について

地域の皆さんにご参加いただき満足度の高い地域づくり事業にするために、「複数区での事業合同実施」や「複数事業を組み合わせる合同実施」の開催も可能です。是非ご検討ください。

詳細は真岡市ホームページ「地域づくり事業について」に具体例を掲載しておりますので、右の二次元コードからご参照ください。



④ 領収書について

- ・ 1枚の領収書を複数事業分として取り扱えることとしました。
- ・ 実績報告書提出時には、領収書の原本とその複写（同日開催した事業数分）を添付してください。（2事業を同日開催した場合、領収書原本と複写1枚）

【同日開催の例】

- ・ 暮らし安全・安心講話とごみ減量・資源化説明会を同日開催し30名が参加した場合、
暮らし安全・安心講話 推進費200円×30名=6,000円
ごみ減量・資源化説明会 推進費200円×30名=6,000円 と2事業で
12,000円を上限に支出できますが、12,000円の領収書1枚でも可とします。

【その他の活用例】

- ・ 敬老会開催で
2,500円×30名分=75,000円を交付申請(交付決定)
実績としては32名分に対し、80,000円の費用がかかった(領収書は1枚)
⇒従来は交付決定額を超えた5,000円は区の持ち出しとなりますが、**推進事務費に
残額があれば充当することが可能になります。**

⑤ 注意点

- ・ 親睦を目的とした懇親会や宴会は、事業として認められません。
- ・ 推進費の用途は地区の裁量で決めていただきますが、事業目的に逸脱したものについては交付対象外となります。

⑥ 各地区分館（公民館）の使用料金について

- ・ 地域づくり事業で公民館を使用する場合は公的な利用となるのため、区長または地域公民館長の名前で公民館へ申請すると、使用料は免除となります。
- ・ 各地区分館（公民館）に申請書用紙があります。団体登録をしていただければ、オンライン申請も可能です。

⑦ 地域づくり事業の見学について

参加者の多い充実した事業を実施している区等については、今後の地域づくり事業の充実・発展のため、各事業の市担当職員が事業実施の様子を見学させていただく場合があります。その際にご協力をお願いいたします。

(1) 安全・安心の地域づくり推進事業

安全・安心なまちづくりを目指すには、地域住民の協力体制の確立と意識の高揚を図ることが大切です。市では、安全で住み良い地域社会を実現するために行われる次の事業について支援します。

事業名	事業の内容 (問) …問合せ先	交付金算出基礎 限度額
No.1 (講話) 暮らし安全・ 安心講話 *推進事業 所要時間(目安) 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全座談会、高齢者交通安全教室等 ・防犯に関する座談会(空き巣、ひったくり、振り込め詐欺等) ・消費生活講座(悪質商法・訪問販売等) (問) 暮らし安全課 交通防犯係 TEL 83-8110 <hr style="border: 0.5px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関する座談会(火災・地震・水害の備え、防災計画等) (問) 危機管理課 危機管理係 TEL 83-8197 *講話事業は直接的な啓発ができるものですので、推進事業としています。区の判断により可能な限り実施して下さい。	○推進費 200円×参加人数 ○交付限度額 <u>30,000円</u> ※回数制限なし
No.2 (活動) 暮らし安全・ 安心活動	交通安全、防犯に関する地域活動への支援 《例》 <ul style="list-style-type: none"> ・カーブミラーの点検清掃活動 ・防犯パトロール活動 ・交通安全街頭指導活動 ・交通安全看板製作、交通安全啓発のぼり旗購入 ・標語やポスター募集の景品代 ・防犯マップ ・緊急通報の仕方(パンフレット)作成 ・有害広告等の撤去 ・暮らし安全に係る広報活動 ・防犯を目的とする公園の草刈り活動(公園管理作業の業務委託契約を締結している自治会を除く) (問) 暮らし安全課 交通防犯係 TEL 83-8110 <hr style="border: 0.5px dashed black;"/> 防災に関する地域の活動の支援 《例》 <ul style="list-style-type: none"> ・初期消火訓練 ・水害リスクに備えた「マイ・タイムライン」の作成 ・自主防災組織活動 ・地域防災マップの作成 ・救急救命講習会(AED講習会) ・災害弱者の確認及び避難訓練 ・各地区防災計画作成 (問) 危機管理課 危機管理係 TEL 83-8197	○推進費 200円×参加人数 ○軽トラック等借上代 1,000円×台数 ○景品代 3,000円×回数 ○消耗品代等 ※必要最小限の額を申請する。 ○交付限度額 <u>50,000円</u> ※回数制限なし

※親睦を目的とした懇親会、宴会等は、事業として認められません。

※活動事業の交付対象になるか判断に迷う場合は、お問い合わせください。

◇ 講師の派遣について

座談会や活動等の開催内容により市職員、警察職員、消防職員が講師として出向きます。下記の①の事項を記載した申請書(様式自由)、またはくらし安全課で配布している申請書を記入し申請してください。

なお、講師の都合により希望に添えないこともありますので、担当部署とあらかじめ日程調整を行っていただくことをお勧めいたします。

①申請書に記載する事項

- ・申請者名（※区長名で申請）
- ・開催日時、座談会・活動の所要時間
- ・講習、座談会等の内容（※具体的に記入）
- ・参加者数と年齢層
- ・開催場所（※DVDが視聴できる機材等の有無も記入）
- ・派遣を依頼する講師名（※派遣の調整が済んでいる場合は記入）
- ・担当者名、連絡先（※携帯電話など必ず連絡が取れるもの）

②担当部署（講師派遣の事前相談先）

- ・交通安全、防犯、消費生活に関する講師を市へ依頼する場合
➡くらし安全課（TEL 83-8110）
- ・防災、防火に関する講師を市へ依頼する場合
➡危機管理課（TEL 83-8197）
- ・交通安全、防犯に関する講師を依頼する場合
➡最寄りの交番、駐在所
※地域を管轄する交番、駐在所が不明な場合で、警察への講師依頼を行う場合は、くらし安全課までお問合せ下さい。
- ・防火、防災、救急救命に関する講師を消防署へ依頼する場合
➡真岡消防署（82-3161）、真岡西分署（83-2424）、二宮分署（74-0537）

③申請書の提出時期、提出先

開催日の30日前までにくらし安全課へご提出ください。

事業全体に対するお問合せ先:くらし安全課 交通防犯係 TEL 83-8110

(2) 地域福祉づくり推進事業

◇ 高齢者たすけあい事業について

(旧：高齢者等見守りネットワーク事業、旧：「地域共助活動推進事業」取組支援事業)

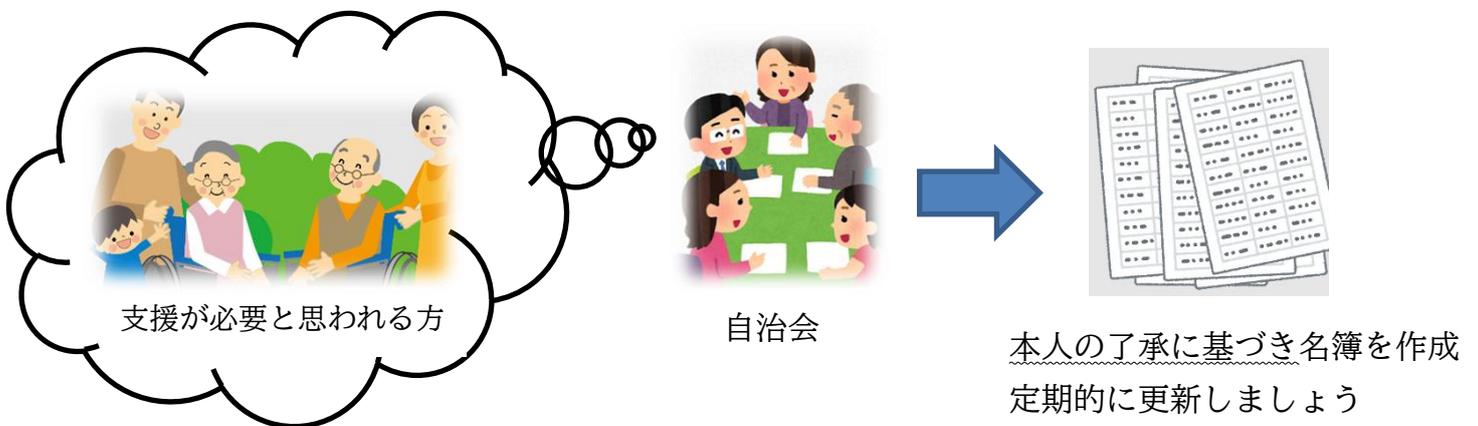
地域の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、各地区において高齢者を見守るための会議開催を支援する事業です。具体的には、高齢者見守りネットワークや地域共助活動推進事業等の会議になります。

1 高齢者等見守りネットワークとは？

高齢者、障がい者、認知症者、その他日常的に支援を必要とする方をあらかじめ把握し見守りネットワークを組織することで、日常的に見守る活動を支援する事業です。区長さんや町会長さんをはじめ、地区の役員さんや班長さん、地区担当の民生委員さんなどが中心となって連絡を取り合い、支援が必要な方がどこにいるかを把握し、本人の意思と了解に基づき、名簿などを作成します。名簿作成後は、定期的に名簿の内容を確認し、情報の追加や更新に務めてください。

※個人情報の取扱いには、十分ご注意ください。

【高齢者等見守りネットワークのイメージ】



2 地域共助活動推進事業とは？

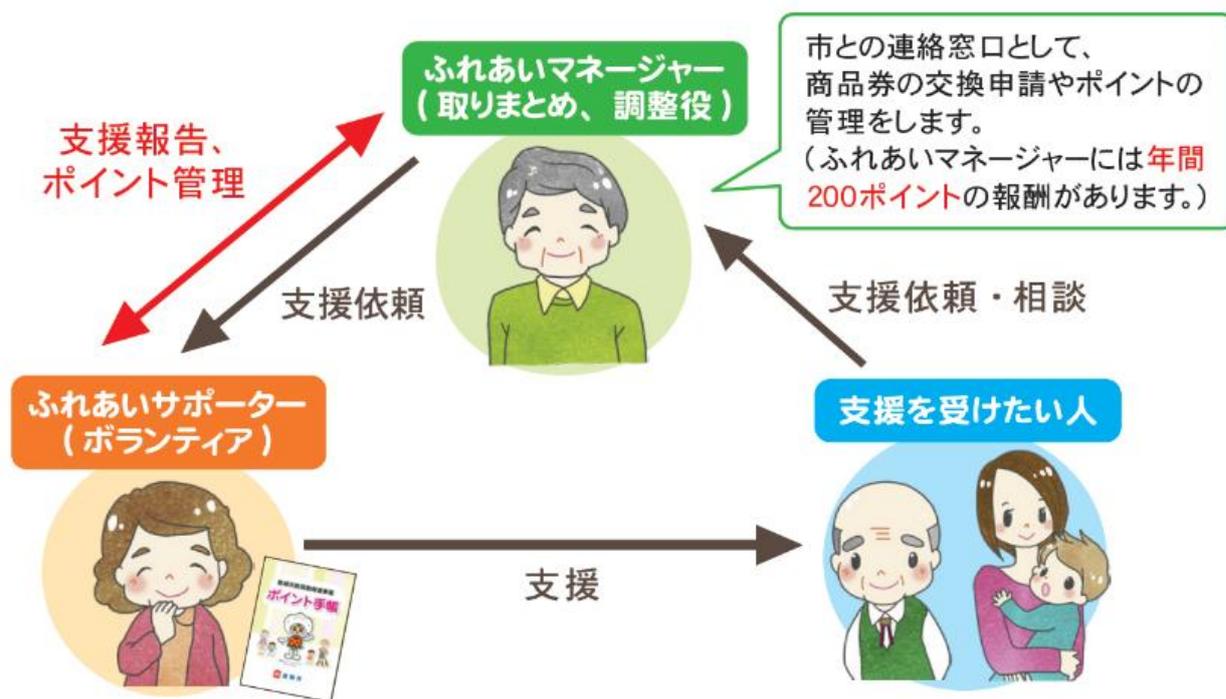
地域で支援を必要とする高齢者、障がい者、子育て中の親を支える活動にポイントを付与し、地域住民の共助意識の高揚と地域の活性化を図るため、「地域共助推進事業」の実施地区及び実施に向けた取組を支援する事業です。

実施は区を単位とし、区長が実施届出書を市に提出します。支援が必要な方（「利用者」）と支援してくれるボランティアの方（「ふれあいサポーター」）の調整を行う「ふれあいマネージャー」

を区長が指定し、ふれあいサポーターには、活動の内容に応じてポイントを付与します。50ポイントで500円の真岡市独自の商品券と交換します。ふれあいマネージャーには、年間で一定額のポイントを提供し、商品券と交換します。

支援の内容は、高齢者、障がい者の方には、生活支援メニュー（ゴミ出し、茶飲み・話し相手、声かけ・安否確認、電球の交換、庭の掃除など）、家事メニュー（買い物代行・付き添い、食事づくり、部屋の清掃など）、子育て支援メニュー（未就学児の子守り、未就学児の読み聞かせなど）があります。支援メニューの中から一つの項目だけでも実施でき、地域の実情に合わせて取り組むことができる事業です。

【地域共助推進事業のイメージ】



事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No. 3 (講話) 高齢者たすけあい	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク作りのための会議を開催 ・ネットワークの支援者及び支援希望者の募集・登録、名簿の更新 ・地域共助について考える会議、地域共助説明会を開催 	説明会等会議費用(推進費)、資料代、消耗品代等 ○ 300円×延べ参加人数	個別計算

会議の回数制限なし

3 地域福祉づくり推進事業の対象者を把握するためには？

地域福祉づくり事業を実施する上で、地域の75歳以上の方の対象者を確認したい場合は、申請により、「該当年度中に75歳を迎える方及び満76歳以上」の名簿を提供することが可能ですので、高齢福祉課または二宮支所窓口までご申請ください。

◇ ミニデイホーム事業について

在宅の75歳以上（昭和27年4月1日以前に出生した人）の高齢者を対象とし、地域公民館等を利用して実施するミニデイホームを支援する事業です。

ミニデイホームとは？

在宅の高齢者の情緒の安定と孤独感の解消、あるいは家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることを目的に、在宅の高齢者が、介護が必要な状態にならないよう、また、閉じこもりにならないよう、地域公民館等を利用して、交流会や75歳以上を対象とした健康講話、高齢者交通安全講話などを実施する「高齢者を対象とした交流の場」です。

注意事項

- ・ミニデイホームは、在宅の75歳以上の方が家から出て地域の方々と交流することが目的のため、役員さんが物を配布して事業が終了とならないよう工夫をお願いします。
- ・食事は、地域の皆さんで食事を振る舞う他、お弁当を購入することも可能です。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No. 4 (活動) ミニデイホーム 運営	75歳以上の方を対象にミニデイホームを開催 例：交流会、そば食事会、ビンゴ大会、ミニゲーム大会など	打ち合わせ会議費、ボランティアに対する謝礼、食事等原材料の購入費用、資料代、消耗品代、備品修繕・買替等 ○1,000円× 延べ参加人数（75歳以上参加人数+役員・ボランティア等参加人数） ※事前準備した人も含む ※子供は対象外。大人のみ参加人数に含む。	720,000円 回数制限なし
No. 5 ミニデイホーム 新規開設 (1区限り)	ミニデイホーム新規開催のためのバリアフリー化改修工事・設備工事等 備品購入	実施計画書（様式第3号）、設計書（配置図、平面図）、見積書、現地写真 を実施計画書提出時に併せて提出 初めてミニデイホームを実施する区のみ対象	1,000,000円
No. 6 ミニデイホーム 改修 (5区限り)	ミニデイホーム継続のためのバリアフリー化改修工事等	実施計画書（様式第3号）、設計書（配置図、平面図）、見積書、現地写真 を実施計画書提出時に併せて提出	200,000円

※ミニデイホーム新規開設・ミニデイホーム改修は、提出資料により審査・決定します。

◇ 真岡いがしら温泉招待事業について

各地区で、75歳以上（昭和27年4月1日以前に出生した人）の高齢者を対象に、真岡いがしら温泉を利用してもらい、高齢者の健康増進を図る、真岡いがしら温泉招待を支援する事業です。ミニデイホーム運営事業や敬老会開催事業と同日開催も可能です。満70歳以上の方は、年最大12回分を無料で温泉に招待をしておりますので、真岡いがしら温泉フロントで温泉カードの手続きをしてご活用ください。また、食事は真岡いがしら温泉をご利用ください。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No. 7（活動） 真岡いがしら温泉招待	75歳以上の方を招待して真岡いがしら温泉を利用	個人自家用車の借上謝礼、引率者の入場料補助、真岡いがしら温泉施設内の個室・カラオケ使用料及び飲食代、資料代、消耗品代等 ○1,500円×延べ参加人数（75歳以上参加人数+引率者参加人数）	個別計算
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">対象者1回のみ申請可能</div>			

※準備等の関係から必ず開催日前に真岡いがしら温泉に連絡をしてください(TEL 83-8822)

※個室使用料・カラオケ使用料一覧

貸室（収容人数）	個室使用料 （3時間）	カラオケ使用料 （3時間）
・十四石の間（約24名） ・井頭の間（約40名）	3,300円	3,300円
・新館大広間（約168名）	3,300円	*6,600円 （カラオケ個室料+カラオケ使用料）

真岡いがしら温泉の利用に関する注意事項

- ・ 食品衛生上の観点から飲食物の持ち込みはご遠慮ください。
- ・ 途中外出はできません。（車への忘れ物を取りに行く場合や喫煙の場合を除く）
- ・ 成人おむつを着用した方の入浴は、衛生管理の観点からご遠慮ください。

◇ 敬老会開催事業について

75歳以上（昭和27年4月1日以前に出生した人）の高齢者の長寿のお祝いや福祉の増進を図るため、各地区で実施する敬老会を支援する事業です。ミニデイホーム運営事業や真岡いがしら温泉招待と同日開催も可能です。記念品を郵送で贈るだけは対象外です。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No. 8（活動） 敬老会開催	75歳以上の方を対象に敬老会を実施	資料代、消耗品代、記念品代、飲食代等 ○2,500円×75歳以上高齢者数	個別計算

対象者1回のみ申請可能

◇ 介護予防体操事業について

各地区が行うノンケア体操、真岡市民体操、健康体操、ラジオ体操などの介護予防体操の開催を支援する事業です。

※本事業は40歳以上を対象とした介護予防を目的とした体操の開催を目的としており、年齢を問わず健康づくりを目的とする体操や運動事業を開催する場合には、次ページに説明のある地域健康づくり推進事業での実施をお願いいたします。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No. 9（活動） 介護予防体操	40歳以上の方を対象に介護予防体操実施 例：ラジオ体操、ノンケア体操、真岡市民体操等	講師謝礼、資料代、消耗品代等 ○300円×40歳以上延べ参加人数	720,000円

回数制限なし

【注意】
レクリエーション、ゲーム、スポーツ等は対象外です

お問合せ先: 高齢福祉課 高齢者福祉係 TEL 83-8195

(3) 地域健康づくり推進事業

健康の保持増進を図るため、各地域で実施する下記の2事業など、健康づくりのための事業を支援します。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No.10(講話) 健康講話 講話時間(目安) 30～60分 ※ACPの講話を希望する場合は60分	健康づくりのための健康講話 ・生活習慣病予防講話 (脳卒中・心臓病・糖尿病 たばこの害・歯の健康 心の健康、減塩食・バランス食・低栄養とフレイル予防など) ・アドバンス・ケア・プランニング(ACP)※1など	○講師謝礼 ・医師:1人当たり20,000円以内 (ACP希望の場合は、医師講話になるため2万円) ・保健師・看護師・栄養士・歯科衛生士・食生活改善推進員など 1人当たり7,000円以内 ・資格を持たない地域の方などが講師をする場合3,000円以内(「健康活動」も同様) ○推進費:200円×参加人数	30,000円 ※回数制限なし
No.11(活動) 健康活動 活動時間(目安) ・運動 30～60分 ・調理実習 150分	健康づくりのための運動 ウォーキング(大会)、ストレッチ体操、ラジオ体操、日常生活に気軽に取り入れられる運動の講習会など (自主グループの定期的な取組みは対象外)	○講師謝礼 ・健康運動指導士やスポーツインストラクター:1人当たり16,000円以内 ・その他の運動講師:1人当たり7,000円以内 ○推進費 200円×参加人数 ※運動については、推進費のみ適用	80,000円 ※回数制限なし
	食生活の改善のための調理実習 食生活の改善につながる工夫を入れて調理すること (例:減塩・たっぷり野菜、バランス食・脂質を抑えた料理など)	○講師謝礼 ・栄養士、食生活改善推進員:7,000円以内 ○原材料費(調理実習時のみ適用):500円×参加人数 ○推進費:200円×参加人数 ※調理実習については、原材料費と推進費が適用	

※1: アドバンス・ケア・プランニング(ACP、愛称: 人生会議)とは

「もしものときのために、自分が望む医療ケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取組のこと」(厚労省より)

※「健康講話」と「健康活動」の2事業を実施した場合の

交付限度額は、80,000円となります。

◇ 事業の計画について

区の役員会議に健康推進員を加え、各種健康づくり事業を計画してください。

また、区の集会時に、健康推進員が健康診査の受診勧奨や講演会への参加勧奨を行う場合がありますですので、ご理解とご協力をお願いします。

◇ 講師派遣について

看護師、保健師、管理栄養士、運動指導士などの講師派遣を市に依頼する場合は、開催日の30日前までにご連絡ください。なお、ご希望に添えないこともありますので、候補日をいくつかあげていただくようお願いします。

◇ ラジオ体操の推進について

健康づくりの一つとして、気軽に取り組めるラジオ体操を推進しています。事業開催時にラジオ体操を取り入れていただくようお願いします。

ラジオ体操実施の際、CD等が必要な場合は事前にご相談ください。(貸出可)

お問合せ先:健康増進課 健康づくり係 TEL (83)8122

(4) 地域子どもすくすく元気事業

子どもたちが地域での活動を通じて実りある経験をし、豊かな人間性を育めるように、次の事業について支援します。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No.12(活動) 子どもお囃子 育成	各地区で小学生・中学生を中心に結成し、定期的に活動している子どもお囃子団体の支援。	○講師謝礼(※外部講師のみ) 1人当たり5,000円以内 ○推進費 200円×参加人数×回数 ○行事等参加者の昼食代 ※大人も対象に含める ・700円×参加人数×回数 ○車借上謝礼 ・1,000円×台数 ○消耗品代等 ※参加者名簿の提出不要	40,000円
No.13(活動) 子どもふれあい	各地区が主催する、子どもたちが地域の人々とふれあい「生きる力」を育むための事業の支援。 【対象事業】 ・真岡木綿ふるさと踊り参加 ・三世代交流事業 ・地域による特色ある事業 (例:地域内清掃、花植え、グラウンドゴルフ・輪投げ大会、もちつき大会、田植え・稲刈体験、ぼうじぼ作り、どんど焼き、いちご狩り、寺子屋など) 【対象外事業】 ・公民館や子ども会事業など、市や他の団体等から既に補助金を受けている事業 (例:ラジオ体操、地域運動会、バス旅行、6年生を送る会など)	○推進費 ・200円×参加人数 ○講師謝礼 ・1人当たり5,000円以内 ○車借上謝礼 ・1,000円×台数 ○消耗品代等 ※1 事業の限度額 <u>30,000円</u>	60,000円

事業数の制限なし

※青少年健全育成を目的とした事業のため、酒類の費用は対象外です。

お問合せ先:生涯学習課 青少年係 TEL 82-7152

(5) 地域道路愛護支援事業

地域における道路及びその周辺の生活環境を保全するとともに、道路に対する愛護精神を培い、安全で住み良い地域社会を実現するため地域住民が共同で実施する事業を支援します。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎及び限度額
No.14(活動) 道路愛護	<p>【対象事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の清掃や路肩法面の除草作業 ・歩道植樹帯(ます)の除草作業 ・道路側溝や水路の清掃作業(農業用排水路は除く) ・道路に張り出した樹木の剪定やコサ刈り作業 など <p>※1回目と2回目は本事業を活用し、3回目以降の実施を検討する際は、特別認定事業(活性化支援事業)をご参照ください。(➡P22)</p>	<p>○消耗品代 作業に必要な消耗品に限る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限度額 1,000円×実施回数 (事業回数の限度は2回まで、限度額に満たない場合は実績額とする) (例:ゴミ拾い用トンブ、ゴミ袋、軍手、ビニール手袋、ビニールひも、燃料代、除草剤など) <p>※消耗品は2回分をまとめて購入も可</p> <p>※1回につき参加延べ人数が100人を超える場合は、超える人数×10円を加算</p> <p>○機械・車両使用代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・500円×機械使用台数 事業1回につき1人1台まで (機械使用例:草刈り機、高圧洗浄機、チェーンソー、電動バリカン、ブロワー、水中ポンプ等) ・500円×車両(軽トラック等)使用台数 ※事業1回につき1人1台まで 作業で出た草やゴミ等を運搬に使用する車両が対象。現地に移動するためのだけの車両は対象外。 <p>※1人で機械、車両共に使用した場合は、1,000円 (参考様式7)の機械・車両使用代領収証を提出してください。</p> <p>○推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業1回につき 200円×参加人数

事業実施内容、交付対象などについて判断に迷う場合は、お問い合わせください。

お問合せ先:建設課 管理係 TEL 83-8147

(6) ごみ減量・資源化推進事業

地域ぐるみでごみ減量・資源化の取り組みを推進していくため、下記の事業について支援します。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No.15(講話) ごみ減量・資源化 説明会 講座時間(目安) 30分~60分	ごみ減量・資源化に関する説明会の開催 ※講師として、市職員が訪問しますので、ご連絡ください。 ※4年に1回程度の実施を推奨します。また、分別方法に大きな変更があった際は、全地区に説明会の実施をお願いする場合があります。 また、5月24日(順延時は31日)と12月13日の一斉清掃日を避けて、説明会の開催をするようお願いいたします。	○推進費 200円×参加人数	30,000円
No.16(活動) ごみ減量・資源化 啓発活動	ごみ減量・資源化に向けた活動 啓発のためのチラシ作成・配布、看板・ポスター作製・設置等 施設見学 見学時間(目安):60分 真岡市リサイクルセンター、芳賀地区エコステーション、エコフォレストの施設見学の実施	○推進費 200円×参加人数 ○施設見学に利用する個人自家用車借上謝礼 ※1台あたり3名 1,000円×台数 ○消耗品代等	50,000円
No.17(活動) 資源回収支援	資源ステーションへの資源運搬支援 地域で資源の排出が困難な方を支援することで資源収集量を増やす活動	○推進費 200円×参加人数 ※上限ひと月16人 ○軽トラック等借上謝礼 1,000円×台数 ※上限ひと月8台 ○消耗品代(軍手代等) ※上限 10,000円	120,000円

注意事項

- 1) ごみ減量・資源化説明会について、講師派遣がなく資料回覧のみの場合は交付金の対象外となります。
- 2) ごみステーションの維持管理に伴う経費は、交付金の対象外となります。
 〈例〉ステーション用ネット、ステーションの整備等、当番への謝礼(飲み物、茶菓子代)等
- 3) 施設見学会のご予約については、下記問い合わせ先までご連絡ください。
 - 真岡市リサイクルセンターの見学予約
 環境課 ごみ減量係 TEL83-8126
 - 芳賀地区エコステーション、エコフォレストの見学予約
 芳賀地区エコステーション TEL81-1244

お問合せ先:環境課 ごみ減量係 TEL 83-8126

(7) 自治会活性化推進事業

自治会とは、その地域に住むみんなでより良い地域づくりを目指し、行政だけでは対応できない地域課題の解決や地域の活性化を担っていくためのコミュニティの核となるものです。本事業では自治会活性化のための次の活動について支援します。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No.18(講話) 女性参画推進 会議	自治会での女性活躍推進に向けた会議や勉強会の実施を支援。 ※会議の参加者は男女を問いません。 【事業例】 ・自治会での女性役員登用や活動参加に向けた打合せや会議の開催 ・地域での女性参画推進に向けた自治会の活動紹介や周知のための勉強会の開催 ・女性目線でのより良い自治会運営や地域づくりに向けた座談会事業の開催 ・男女共同参画の勉強会の開催(市職員を講師とする場合の所要時間(目安)30分)	○推進費 ・事業の推進に必要な経費 ・200円×参加人数	30,000円 ※回数制限なし

※ 親睦を目的とした懇親会や旅行等は事業として認められません。

※ 事業の詳細については次頁をご覧ください。

事業名	事業の内容	交付金算出基礎	限度額
No.19(活動) 自治会加入促進	自治会未加入者への加入促進を目的とした活動を支援。 【事業例】 ・区の紹介や加入案内用チラシ ・ポスター・看板等の作成 ・自治会未加入者への戸別訪問やチラシ配布、説明会等の開催 ・その他、自治会加入促進に関する活動例)区の行事(夏祭り等)への未加入者への参加呼びかけ	○消耗品代等 ・チラシ等作成に係る用紙代、インク代、コピー代等 ・チラシ・看板の製作を業者に委託する場合の費用 ○推進費 ・戸別訪問時や説明会等を開催する際の茶菓子代等、事業の推進に必要な経費 ・200円×参加人数	50,000円

※ チラシの作成例や加入呼びかけの基本的な方法は真岡市ホームページ「自治会活動と自治会加入」に掲載しておりますので、右の二次元コードからご参照ください。

※ チラシ等を作成した際には、実績報告書提出の際に1部添付してください。



お問合せ先:市民協働推進室 TEL 83-8141

◇ 男女共同参画の推進について

男女共同参画社会づくりにあたっては、真岡市ではこれまで、男女共同参画意識づくりや、あらゆる分野における男女共同参画の推進などの施策に取り組んできましたが、依然家庭での女性の負担感が高く、性別を理由として役割を固定的に分ける考え方が根強く残っている現状があります。

こうした状況に対応すべく、本市では令和4年度に策定した「第4次真岡市男女共同参画社会づくり計画」に基づき、男女共同参画の推進に取り組んでいます。

男女共同参画社会とは

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。(男女共同参画社会基本法第2条) ※内閣府男女共同参画局ホームページより

地域づくり事業においては、第4次計画の「地域や社会における男女共同参画の推進」という施策の方向に基づき、男女共同参画の推進に取り組んでいます。

地域活動における男女共同参画の推進

地域の多様化する課題・ニーズに対応していくためには、様々な視点から課題解決ができる多様な人材の確保が必要である。そうした視点から、地域活動の担い手が、性別や年齢等で多様であること、また、性別や年齢等により役割が固定化されることがないことが重要である。※国の第5次男女共同参画基本計画より

◇ 自治会における女性参画推進に向けて

まずは男女共同参画を考えるきっかけづくりとして、こんな取り組みを実施してみませんか。地域の皆さんが集まる機会にぜひご活用ください。

- ・特に決まりもないけど、なんとなく自治会の役員になっているのは基本的に世帯主となっている男性。これでいいのかな？
➡自治会での女性役員登用や活動参加に向けた話し合い等を開催してみましよう。
- ・自治会の会議はほぼ男性のみ。女性は自治会の活動についてよく把握していないかも？
➡まずは自治会ではどのような活動を行っているのか、活動紹介や勉強会を女性向けに開催してみましよう。
- ・自治会について本当はもっとこうしたい！こうして欲しい！という思いがあるのだけれど、会議に出席するわけでもないのではなかなか言い出せない。
➡女性目線でのより良い自治会運営に向けて、座談会等を開催してみましよう。
- ・男女共同参画社会って言われてもあまりイメージがわからない。
➡男女共同参画の勉強会を開催しましよう。市職員が講師としてお伺いします。

※上記はあくまで事業イメージの参考例です。ご不明な点があれば下記までご連絡ください。

お問合せ先:市民協働推進室 TEL 83-8141

(8) 特別認定事業

特別認定事業には、特に、個性豊かな地域づくり事業を計画、展開する地区の活動を支援するための①特別認定事業と、他の地域づくり事業のうち、交付限度額内の実施回数や回数制限を超えて事業を実施したい地区に対して支援を行う②活性化支援事業の2つがあります。

① 特別認定事業

地域の皆さんの創意工夫を基に、事業を計画・展開する事業です。

例として、次のような事業が対象になりますが、区の既存事業(お祭り、運動会等)については対象外となります。



【事業例】

・収穫祭開催事業

さつま芋などを育成会や老人会で栽培し、幼稚園児を招待し収穫祭を実施することにより、世代間の交流を図る。

・地域特産品交流事業

地域の特産品を活かした様々な特色ある商品を開発し、消費者へ販売を行うなど六次産業化を目指す。流通販売なども視野に商品のブランド化を図り、地域の活性化と交流を図る。

●23ページからこれまでの特別認定事業の実施内容一覧がありますので、参考にしてください。

【注意点】

- ※ 交付金の対象(謝礼、推進費、消耗品代等)は、原則他事業の基準に準拠します。
- ※ 申請書により審査・決定します。
- ※ 認定を受けた事業は、交付金の終了後も継続して地域独自で実施するようお願いします。
- ※ 交付金の交付期間は、最長で3年間となります。

※以前に特別認定事業として実施したことのある事業でも、実施後8年を経過したもの(令和8年度の場合は、平成29年度以前に申請した事業)については、再申請が可能となります。

※計画策定にあたっての事前相談、疑問点等ございましたら下記までお問い合わせください。

お問合せ先:市民協働推進室 TEL 83-8141

② 活性化支援事業

地域づくり事業の各事業において、交付限度額内の実施回数又は回数制限を超えて事業を実施したい区に対し支援を行う事業です。

対象となる事業及び交付限度額は以下の表のとおりとし、1区1小事業となります。
また、交付金の対象や算出根拠についても実施する事業に準拠します。

【対象事業】

	大 事 業 名	小 事 業 名	交付限度額
1	安全安心の地域づくり推進事業	くらし安全・安心活動	50,000円
2	地域福祉づくり推進事業	ミニデイホーム運営	100,000円
		介護予防体操	100,000円
3	地域健康づくり推進事業	健康講話	30,000円
		健康活動	80,000円
4	地域子どもすくすく元気事業	子どもお囃子育成	40,000円
		子どもふれあい ※1事業 30,000円	60,000円
5	地域道路愛護支援事業	道路愛護	100,000円
6	ごみ減量・資源化推進事業	ごみ減量・資源化啓発活動	50,000円
7	自治会活性化推進事業	女性参画推進会議	30,000円
		自治会加入促進	50,000円

【活性化支援事業の活用事例】

例1)「健康講話」について、脳卒中の講話だけでなくバランス食の講話も実施したい。

例2)毎年「子どもふれあい」を活用しているが、子ども達とふれあう事業を増やしたい。

例3)「道路愛護」での除草を年2回実施しているが、今年は3回実施したい。



☆本事業を活用することで、事業の実施回数を増やすことが可能です☆



※必要な事業の回数を増やすことを目的としているため、規模を拡大するための交付金の使途は認められませんのでご注意ください。

- 特別認定事業について、1地区で①特別認定事業、②活性化支援事業の両方の事業を申請することも可能ですが、その場合の交付限度額は、①②合わせて10万円となります。
- 各区からの申請額の総額が予算額を超える場合は、市民協働推進室で金額を調整します。

お問合せ先:市民協働推進室 TEL 83-8141

これまでの特別認定事業 実施内容一覧

年度	事業名	事業内容
21	安達三楽斎の調査研究	狩野派の絵師・安達三楽斎元善氏を中心に描かれたふすま絵が歌舞伎舞台の背景を成していることから、安達三楽斎元善氏の調査・研究
	ふれあい交流活動	竹細工や流しそうめん等の活動を通じて、地域の高齢者と子供たちの交流を図る。また、さつまいも栽培や焼いも食味会等の活動を通じて自然とふれあい、地域の三世代交流を深める。
	コミュニティカレッジ	会社人間から地域人間への変貌期を迎える人たちが交流し、仲間づくりを進め生きがいに寄与することを目的に学習会を開催
22	アジサイの集い	アジサイを育てながら梅雨時の風物詩としての鑑賞並びに自治会館周辺の環境整備を進めるとともに、人と人との繋がり、融和・協力、助け合いを広げ、区全体の活性化を図る。
24	ファーム開園	地域内の休耕地を活用しての地域住民による家庭菜園を実施し、子供・親・高齢者との地域交流を深め、安全安心の町づくりを行う。
	地域環境再生プラン	区域内の田んぼと河川のつながりを復元し、地域環境の再生を目指す。併せて、地域の誇り、生きがい、絆を深め、次世代に継承する。
25	シモツケコウホネ（絶滅危惧種）保存事業	本県（3カ所）でしか生息の確認がされていないシモツケコウホネ及びナガレコウホネの市内唯一の自生地について、地区をあげて保存活動に取り組む。
	足跡保存事業	生活している区の居住環境と人々の生き様や人となり、映像や文書でまとめ、発表会をとおり区の共有財産として永久保存し後世に伝承していく。
26	春の彩り・ひなまつり	会員所有のお雛様や未就学児、小学生の手作り雛を公民館に飾り、鑑賞しながら懇談することにより、地域のつながりを強化する。
27	ふれあい農園開設事業	耕作放棄地を対象に、さつまいも、稲作等の地域ふれあい農園を開設し、地域交流の場づくりに取り組み、併せて、収穫祭の開催によって食を楽しむなど、地域親睦を図る。
28	ふれあい広場開催事業	区の歴史について学習会を実施する。地元のルーツ等を紐解くことで、住民に地元の大切さを再認識してもらい、交流を深める。
29	伝統行事を活かした地域づくり	こども相撲と同時に伝統的な行事を地域住民のよりどころとしながら、住民の交流を進める。また、区域内に住む外国人との交流を深め、明るく住みよい地域づくりに寄与する。
	そばの地産地消を目指した地域活性化事業	生産からそば粉を原料とした菓子等の作り方までを学ぶことにより、農業の6次産業化の一端を体験し、さらなる地域の活性化を図る。また、そば粉のシフォンケーキ及び「そばすいとん」作り等の講習会を開催し、世代間の交流を図る。

これまでの特別認定事業 実施内容一覧

年度	事業名	事業内容
30	地域環境向上活動	地域住民が、除草活動や季節の花植えなどを積極的に行い、きれいな生活環境を造り上げる取組を行う。
	地域グルメ深化・普及事業	全国各地の出身者が多い地域性から、真岡の味にその出身地の味を活かして、地産地消されるグルメの創設を目的とする。
	ふれあい農園開設事業	遊休農地を対象に地域土壌にあったさつまいもの「ふれあい農園」を開設し、世代間の地域交流の場所づくりに取り組み、併せて、秋には収穫祭を行い、食を楽しむことで地域住民の親睦を図る。
R3	収穫祭開催事業	地域内の遊休農地を活用したさつまいも、さといも等の栽培や収穫祭を通して地域住民の親睦を図る事業。
	「符行」継承事業	地域の伝統行事となっている「符行」の後継者育成、伝承事業。
	ふれあい農園開設事業	地域内の遊休農地を活用したさつまいも栽培や収穫祭、特産品の開発等の企画を通して地域の親睦と活性化を図る事業。
	茅の輪くぐり継承事業	地域の伝統行事「茅の輪」作成の後継者育成、継承事業。
	収穫祭開催事業	地域内の畑を活用したさつまいもや野菜の栽培、収穫祭を通して、地域の連帯感と郷土愛を育む事業。
R4	収穫祭開催事業	地域内の不耕作地を活用し、地域の人々・育成会・老人会一同でさつまいも芋の栽培を行い、芋ほり会や焼き芋会などを通して子供からお年寄りまで全世代の交流を図る事業。
R5	地域の歴史と文化を学び、伝える事業	地域内の遺跡・文化財を学び合い、次世代に伝える事業
	ふれあい祭り事業	小中学生向けにどんど焼きの勉強会を行い、ふれあい祭りと併せてどんど焼きの発表会を実施し、伝統行事の継承を行う事業。
R6	地域の歴史と文化を学び、伝える事業	地区に伝わる歴史を講話やフィールドワークを実施し、特に子どもたちに伝える事業
	ウォーキング&ジョギングコース開設事業	地域運動広場を整備し、地域住民の健康づくり、介護予防活動に資する活動を実施する。
R7	休耕地を利用した三世代交流事業	休耕地を利用し、サツマイモの植付けから収穫までを体験し、農作業の楽しさを経験するとともに世代間交流を図る事業
	メダカの里づくり事業	メダカの親子観測会を実施し、子ども達がメダカの池や川に入り魚を取って遊ぶ姿を残す事業



地域づくり事業交付金交付申請書

記入例

令和8年 ● 月 ● 日

真岡市長様

区名 ○○区

代表者氏名（区長） ○ ○ ○ ○

連絡先電話番号 ○○○-○○○○

令和8年度地域づくり事業交付金を下記のとおり申請します。

1 実施事業 ※実施する事業の□にチェックを入れ、申請額を記入してください

事業名	申請額																		
<input checked="" type="checkbox"/> 安全安心の地域づくり事業	60,000	円 ①																	
<input checked="" type="checkbox"/> 地域福祉づくり推進事業	512,000	円 ②																	
<input checked="" type="checkbox"/> 地域健康づくり推進事業	74,000	円 ③																	
<input checked="" type="checkbox"/> 地域子どもすくすく元気事業	84,000	円 ④																	
<input checked="" type="checkbox"/> 地域道路愛護支援事業	58,800	円 ⑤																	
<input checked="" type="checkbox"/> ごみ減量・資源化推進事業	135,400	円 ⑥																	
<input checked="" type="checkbox"/> 自治会活性化推進事業	33,000	円 ⑦																	
<input checked="" type="checkbox"/> 特別認定事業	50,000	円 ⑧																	
小計（①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧）	1,007,200	円 ⑨																	
<input checked="" type="checkbox"/> 推進事務費（⑪+⑫）	62,300	円 ⑩																	
・⑨の金額×5%（※100円未満切り捨て）	50,300	円 ⑪																	
・役員の数×500円 役員数 24 人×500円=	12,000	円 ⑫																	
<table border="1"> <tr> <td>区長の人数</td> <td>1</td> <td>人</td> <td rowspan="2">※役職兼務の場合は合わせて1人分の交付となります</td> </tr> <tr> <td>町会長の人数</td> <td>3</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>組長（班長の）人数</td> <td>9</td> <td>人</td> <td rowspan="3">※その他の役員を推進事務費の積算人数に含める場合には地区の役員名簿を添付してください</td> </tr> <tr> <td>公民館長の人数</td> <td>1</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>その他の役員の数</td> <td>10</td> <td>人</td> </tr> </table>	区長の人数	1	人	※役職兼務の場合は合わせて1人分の交付となります	町会長の人数	3	人	組長（班長の）人数	9	人	※その他の役員を推進事務費の積算人数に含める場合には地区の役員名簿を添付してください	公民館長の人数	1	人	その他の役員の数	10	人		
区長の人数	1	人	※役職兼務の場合は合わせて1人分の交付となります																
町会長の人数	3	人																	
組長（班長の）人数	9	人	※その他の役員を推進事務費の積算人数に含める場合には地区の役員名簿を添付してください																
公民館長の人数	1	人																	
その他の役員の数	10	人																	
申請額合計（⑨+⑩）	1,069,500	円																	

2 事業内容 別添様式第2号「実施計画書」のとおり

3 交付金の振込先（下記のいずれかにチェックしてください）

- 昨年と同じ口座（金融機関、種別、口座番号、口座名義いずれも変更なし）
- 昨年から口座の変更あり（変更後の口座情報を下記に記入してください）

金融機関名称	口座番号	銀行	本店
		信用組合	支店
		農協	出張所
普通預金		フリガナ	
	口座名義		

※ 地域づくり事業専用の口座を開設願います。

記入例

地域づくり事業交付金の受領に関する委任状

令和8年 ● 月 ● 日

代理人	住 所	真岡市〇〇〇〇
	氏 名	木綿 次郎 ※口座名義になっている方が代理人となります

振込先の口座が区長さんとは異なる名義の場合には、この委任状もあわせてご提出ください

私は、上記代理人に、地域づくり事業交付金の受領に関する一切の権限を委任します。

委任者	住 所	真岡市〇〇〇〇
	氏 名	真岡 太郎 ㊟ ※区長さんが委任者となります

様式第2号 (実施計画書)

※実施する事業の口にチェックを入れ、申請額を記入してください

(令和8年度)

記入

黄色セルに入力をしてください。
青色セルは自動計算されます。

区名: ○ ○ 区

担当者: 区長 ○ ○ ○ ○

担当連絡先: ×××-××××-××××

大事業名	小事業名	申請額
安全安心の地域づくり事業	<input checked="" type="checkbox"/> 暮らし安全・安心講話 ・実施時期: ①7月20日、②11月30日 ・推進費: 200円 × 50 人 × 2 回 = 20,000 円 ・内容 (<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全 <input checked="" type="checkbox"/> 防犯 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 消費生活講座) ・実施場所: ○○公民館 ・講師依頼: (有)・無 ・講師依頼先: <input checked="" type="checkbox"/> 市職員 <input checked="" type="checkbox"/> 警察 <input type="checkbox"/> 消防 <input type="checkbox"/> その他 ・担当者名、連絡先: ○○ 090-1234-5678	20,000 円
	<input checked="" type="checkbox"/> 暮らし安全・安心活動 ・実施時期: ①○月、②○月 ・軽トラック等借上謝礼: 1,000円 × 5 台 = 5,000 円 ・内容 (①消火訓練、②カーブミラー点検) ・講師依頼: (有)・無 ・推進費: 200円 × 150 人 = 30,000 円 ・景品代: 0 円 ・消耗品代: 5,000 円	40,000 円
地域福祉づくり推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者たすけあい ・実施予定時期 (6月、12月) ・内容 (高齢者ネットワークづくりの会議を開催し、名簿を更新。地域共助についての会議を開催) ・300円 × 30 人 = 9,000 円	9,000 円
	<input checked="" type="checkbox"/> ミニデイホーム運営 (上限72万円) ・実施予定時期 (7月、10月、2月) ・内容 (75歳以上の方を対象に交流会やそば食事会、講習会等を開催) ・1,000円 × 100 人 (75歳以上 80 人 + 役員・ボランティア 20 人) = 100,000 円	100,000 円
	<input type="checkbox"/> ミニデイホーム新規開設 (上限100万円)	0 円
	<input checked="" type="checkbox"/> ミニデイホーム改修 (上限20万円)	200,000 円
	<input checked="" type="checkbox"/> 真岡いがしら温泉招待 (対象者1回のみ) ・実施予定時期 1月 ・内容 (75歳以上の方を対象に真岡いがしら温泉で入浴後、食事やカラオケを楽しみ地域住民と交流した。) ・1,500円 × 40 人 (75歳以上 30 人 + 引率者 10 人) = 60,000 円	60,000 円
	<input checked="" type="checkbox"/> 敬老会開催 (対象者1回のみ) ・実施予定時期 (9月) ・内容 (75歳以上の方を対象に公民館で敬老会を開催。食事をふるまう他、記念品を贈呈) ・2,500円 × 50 人 = 125,000 円	125,000 円
<input checked="" type="checkbox"/> 介護予防体操 (上限72万円) ・実施予定時期 (7月、11月、12月) ・内容 (40歳以上を対象にラジオ体操やノンケア体操を実施) ・300円 × 60 人 = 18,000 円	18,000 円	
地域健康づくり推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 健康講話(30,000円限度) ・講師謝礼: 20,000 円 ・推進費: 200円 × 40 人 = 8,000 円 ・実施時期: ○月○日 ・講師依頼: (有)・無	28,000 円
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康活動(80,000円限度) ・講師謝礼: 22,000 円 ・原材料費 (調理実習時のみ適用): 500円 × 20 人 = 10,000 円 ・推進費: 200円 × 70 人 = 14,000 円 ・謝金内訳 (調理実習栄養士講師謝金7,000円 + ウォーキング体操講師謝金15,000円) ・人数内訳 (料理実習20人+ウォーキングと体操50人) ・実施時期: ○月○日 ・講師依頼: (有)・無	46,000 円

ミニデイ新規開設と改修事業は同時に申請できません。

健康増進課に講師を依頼する場合は「有」、地区で講師を探す場合は「無」

様式第2号 (実施計画書)

※実施する事業の口にチェックを入れ、申請額を記入してください

黄色セルに入力をしてください。
青色セルは自動計算されます。

(令和8年度)

記入例

区名: ○ ○ 区

担当者: 区長 ○ ○ ○ ○

担当連絡先: ×××-××××-××××

大事業名	小事業名	申請額
地域子ども すくすく 元気事業	12 子どもの囃子育成 ・実施時期: 令和8年5月~令和9年2月(10日間) ・開催場所: ○○公民館、○○祭り会場 ・内容等(定期練習会、○○祭りへの参加) ・講師謝礼: 3,000 円 (内訳:) ※外部講師のみ ・推進費: 200円× 20 人× 5 回 = 20,000 円 ・弁当代: 700円× 20 人× 1 回 = 14,000 円 ・消耗品代: 2,000 円 ・自家用車借上謝礼: 1,000 円 (内訳: 1,000円× 1 台)	40,000 円
	12 子どもふれあい ・内容①(三世交代流事業) ・実施時期: ○月○日 ・講師謝礼: 円 (内訳:) ・推進費: 200円× 70 人 = 14,000 円 ・消耗品代: 1,000 円 ・自家用車借上謝礼: 円 (内訳: 1,000円× 台)	15,000 円
	12 子どもふれあい ・内容②(親子クリーン作戦) ・実施時期: ○月○日 ・講師謝礼: 円 (内訳:) ・推進費: 200円× 30 人 = 6,000 円 ・消耗品代: 3,000 円 ・自家用車借上謝礼: 1,000 円 (内訳: 1,000円× 1 台)	10,000 円
	13 子どもふれあい ・内容③(ふれあい陶芸教室) ・実施時期: ○月○日 ・講師謝礼: 5,000 円 (内訳: 2,000円×1人、3,000円×1人) ・推進費: 200円× 40 人 = 8,000 円 ・消耗品代: 6,000 円 ・自家用車借上謝礼: 円 (内訳: 1,000円× 台)	19,000 円
	13 子どもふれあい ・内容④() ・実施時期: ・講師謝礼: 円 (内訳:) ・推進費: 200円× 人 = 円 ・消耗品代: 円 ・自家用車借上謝礼: 円 (内訳: 1,000円× 台)	円
	13 子どもふれあい ・内容⑤() ・実施時期: ・講師謝礼: 円 (内訳:) ・推進費: 200円× 人 = 円 ・消耗品代: 円 ・自家用車借上謝礼: 円 (内訳: 1,000円× 台)	円
	13 子どもふれあい ・内容⑥() ・実施時期: ・講師謝礼: 円 (内訳:) ・推進費: 200円× 人 = 円 ・消耗品代: 円 ・自家用車借上謝礼: 円 (内訳: 1,000円× 台)	円
	13 子どもふれあい ・内容⑦() ・実施時期: ・講師謝礼: 円 (内訳:) ・推進費: 200円× 人 = 円 ・消耗品代: 円 ・自家用車借上謝礼: 円 (内訳: 1,000円× 台)	円
	13 子どもふれあい ・内容⑧() ・実施時期: ・講師謝礼: 円 (内訳:) ・推進費: 200円× 人 = 円 ・消耗品代: 円 ・自家用車借上謝礼: 円 (内訳: 1,000円× 台)	円
	13 子どもふれあい ・内容⑨() ・実施時期: ・講師謝礼: 円 (内訳:) ・推進費: 200円× 人 = 円 ・消耗品代: 円 ・自家用車借上謝礼: 円 (内訳: 1,000円× 台)	円

84,000 円

④

様式第2号 (実施計画書)

※実施する事業の口にチェックを入れ、申請額を記入してください

黄色セルに入力をしてください。
青色セルは自動計算されます。

(令和8年度)

記入例

区名: ○ ○ 区

担当者: 区長 ○ ○ ○ ○

担当連絡先: ×××-××××-××××

大事業名	小事業名	申請額	申請額	
地域道路 愛護支援事業	⑤ 道路愛護			
	・実施予定回数 2 回 × 1,000円 = 2,000 円 (消耗品代)			
	・1回目	・内容 (地域内道路のゴミ拾い及び道路に係る樹木の枝払い、路肩の除草)		
	・参加予定人数 130 人 × 200円 = 26,000 円 (推進費)			
	・100人を超える人数 30 人 × 10円 = 300 円 (消耗品代加算)			
	・機械使用台数 10 台 × 500円 = 5,000 円	・車両使用台数 5 台 × 500円 = 2,500 円	58,800 円	58,800 円 ⑤
	・2回目	・内容 (地域内道路のゴミ拾い及び道路に係る樹木の枝払い、路肩の除草)		
	・参加予定人数 90 人 × 200円 = 18,000 円 (推進費)			
	・100人を超える人数 0 人 × 10円 = 0 円 (消耗品代加算)			
	・機械使用台数 5 台 × 500円 = 2,500 円	・車両使用台数 5 台 × 500円 = 2,500 円		
ごみ減量・資源化 推進事業	⑥ ① ②			
	⑤ ごみ減量・資源化説明会			
	・実施時期: ○月○日	・実施場所: ○○公民館	・講師依頼先: ■ 市職員(環境課ごみ減量係)	6,000 円
	・推進費:200円× 30 人 = 6,000 円			
	⑥ ごみ減量・資源化啓発活動	・内容 (①エコステーション見学、②ごみ減量・資源化看板設置事業)		
	・実施時期: ①7月、②10月			
	・推進費:200円× 50 人 = 10,000 円	・消耗品代、看板作製代等: 10,000 円	27,000 円	
	・車謝礼:1,000円 7 台 = 7,000 円		135,400 円 ⑥	
	⑦ 資源回収支援			
	・実施時期: 令和8年4月から令和9年2月の資源①②収集日 2回/月 計22回			
	・推進費:200円× 6 人× 22 回 = 26,400 円	・消耗品代: 10,000 円	102,400 円	
	・車謝礼:1,000円 3 台× 22 回 = 66,000 円			
自治会活性化 推進事業	⑧ ⑨			
	⑧ 女性参画推進会議・内容 地域座談会の実施「地域活動における男女共同参画」			
	・実施時期: ○月○日	・講師依頼: (有)・無	・推進費:200円× 30 人 = 6,000 円	6,000 円
	⑨ 加入促進	・内容 (加入促進チラシ作成、戸別訪問の実施)		
	・推進費:200円× 60 人 = 12,000 円	・その他消耗品代等: 15,000 円	27,000 円	
			33,000 円 ⑦	

ミニデイホーム新規開設・改修事業実施計画書

記入例

区 名 〇〇区

事業項目	申請額（円）	改修場所、実施目的、具体的内容、事業費積算内訳等
<p style="text-align: center;">ミニデイホーム 新規開設 (限度額1,000,000円)</p>	<p style="color: red;">900,000</p>	<p>【改修場所】</p> <p style="color: red;">〇〇公民館（真岡市荒町5191）</p> <p>【改修目的】</p> <p style="color: red;">今年度からミニデイホームを実施するにあたり、室内に段差があるため、高齢者が歩行しやすいようバリアフリー化をしたい また、車いすでも出入りができるように玄関にスロープを設置したい</p> <p>【費用】</p> <p style="color: red;">900,000円（税込）</p> <p>【工期予定】</p> <p style="color: red;">7月～8月頃を予定</p> <p>※ 設計書（配置図、平面図）、見積書、現地写真を併せて提出</p>
<p style="text-align: center;">ミニデイホーム 改修 (限度額 200,000円)</p>	<p style="color: red;">200,000</p>	<p>【改修場所】</p> <p style="color: red;">〇〇公民館（真岡市荒町5191）</p> <p>【改修目的】</p> <p style="color: red;">ミニデイホームを継続的に実施するため、75歳以上の方が椅子に座って活動ができるよう、畳の部屋をフローリングに改修したい 高齢者の方の安全のため、玄関に手すりを設置したい</p> <p>【費用】</p> <p style="color: red;">205,000円（税込）</p> <p>【工期予定】</p> <p style="color: red;">9月頃を予定</p> <p>※ 設計書（配置図、平面図）、見積書、現地写真を併せて提出</p>

特別認定事業実施計画書

記入例

区 名 ○○区

目的、開催日時、会場、参加者、具体的内容、事業費積算内訳等

①特別認定事業

※書類選考により審査決定しますので、特に詳細に記入してください。（交付限度：3年間）

必要に応じて配置図、設計図等も別資料として添付してください。

【記入の注意点】

- ・事業の名称、目的、具体的内容等を記載してください。
- ・上記に基づき、必要経費の積算を記載してください。
- ・交付金の対象や算出根拠等については原則、他の地域づくり事業の基準に準じます。
- ・記入スペースが足りない場合には別紙として添付いただいても差し支えございません。
- ・特別認定事業は同一事業で最長で3年間申請できます。
- ・申請の内容によっては、申請額に対し交付決定額が満額でない場合もございます。

事業費： 50,000 円・・・①

②活性化支援事業

【事業名：

事業】

※交付金の対象、算出根拠については申請したい事業の基準に準じます

【記入の注意点】

- ・既存の他事業について、交付限度額や回数制限を超えて実施したい事業があればこの事業で申請できます。（対象事業の制限あり、1区1事業限り）
- ・あくまで事業の回数を増やすためのものであり、事業規模を拡大するための交付金の使途は認められません。

事業費： 円・・・②

総事業費 50,000 円 ① + ②

区の持ち出し 0 円

申請額 50,000 円（限度額100,000円）

実施計画事業内容変更書

年 月 日

真岡市長様

記入例

区 名 **〇〇区**

代表者氏名（区長） **真岡 太郎**

連絡先電話番号 **090-XXXX-0000**

記

変更前			変更後		
事業名	交付額	内容	事業名	申請額	内容
<p>事業内容変更書の対象となるのは、当初の実施計画から大幅な事業内容の変更があり、それに伴い交付金の金額や用途に変更を要する場合に提出いただくものです。</p> <p>事前に事業担当課にご相談の上、市民協働推進室へご提出ください。</p> <p>なお、単純な積算誤り（敬老会の対象者数の誤り等）による追加交付は認められませんので、当初申請の際には十分ご注意ください。</p>					
計			計		

（変更後の額 円） - （変更前の額 円） = （ 円）

変更の理由

様式第6号（実績報告書）

（令和8年度）

区名：○○○ 区 担当者：○○○

担当連絡先：×××-××××-××××

※実施した事業の口にチェックを入れ、実績を記入してください。■（黄色）セルに入力をしてください。■（青）セルは自動計算されます。手書きの際は、■（黄色）■（青）両方の箇所を記載願います。

大 事 業 名	内 容	交 付 決 定 額 (A)	流 用 額 (B)		実 績 額 (C)	残 額 (A+B)-(C)	返 還 額 合 計
			流 用 元	流 用 先			
安全安心の地域づくり事業	<input type="checkbox"/> 暮らし安全・安心講話 ・内容(<input checked="" type="checkbox"/> 交通安全 <input checked="" type="checkbox"/> 防犯 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 消費生活講座) ・実施日: ①7月20日、②11月30日 ・開催場所 真岡公民館 ・延べ参加人数 85 人 ・推進費 17,850 円 ※上限額 (200円× 85 人 = 17,000 円)	22,000 円	5,000 円		17,000 円	0 円	0 円
	<input type="checkbox"/> 暮らし安全・安心活動 ・内容(①真岡消防署職員を講師に初期消火訓練、②カーブミラー点検) ・実施日: ①8月10日、②10月20日 ・延べ参加人数 50 人 ・推進費 15,000 円 ※上限額 (200円× 50 人 = 10,000 円) ・軽トラック等借上謝礼: 1,000円 × 2 台 = 2,000 円 ・景品代: 15,000 円 ・消耗品代: 3,000 円	25,000 円		5,000 円	30,000 円	0 円	
地域福祉づくり推進事業	<input type="checkbox"/> 高齢者たすけあい ・実施日: 6月1日、12月3日 ・開催場所: 真岡公民館 ・内容(高齢者ネットワークづくりの会議を開催し、名簿を更新した。地域共助について会議を開催した) ・延べ参加者人数 15 人 ・事業に要した経費 3,500 円 ※上限額 (300 円 × 15 人) = 4,500 円	4,500 円			3,500 円	1,000 円	3,500 円
	<input type="checkbox"/> ミニデイホーム運営 (上限72万円) ・実施日: 7月10日、10月25日、2月8日 ・開催場所: 真岡公民館 ・内容(75歳以上の方を対象に7月にそば食事を実施。10月に輪投げ大会を実施。2月に出前講座にて○○講座を実施。) ・延べ参加者人数 110 人 (75歳以上 100 人 + 役員・ボランティア 10 人) ・事業に要した経費 150,000 円 ※上限額 (1,000 円 × 110 人) = 110,000 円	110,000 円			110,000 円	0 円	
	<input type="checkbox"/> ミニデイホーム新規開設 (上限100万円) 内容(公民館の路面・段差改修、スロープ取付) ※要 様式第7号(請求書・領収書・現地写真等含む)提出					0 円	
	<input type="checkbox"/> ミニデイホーム改修 (上限20万円) 内容(公民館の手すり取付) ※要 様式第7号(請求書・領収書・現地写真等含む)提出	200,000 円			200,000 円	0 円	
	<input type="checkbox"/> 真岡いがしら温泉招待 (対象者1回のみ) ・実施日: 1月30日 ・内容(75歳以上の方を対象に真岡いがしら温泉で入浴後、食事やカラオケを楽しむ地域住民と交流した。) ・参加人数 32 人 (75歳以上 25 人 + 引率者 7 人) ・事業に要した経費 50,000 円 ※上限額 (1,500 円 × 32 人) = 48,000 円						
	<input type="checkbox"/> 敬老会開催 (対象者1回のみ) ・実施日: 9月21日 ・開催場所: 真岡公民館 ・内容(75歳以上の方を対象に公民館で敬老会を開催。食事を楽しみ、記念品として○○を贈呈した。) ・対象者数 50 人 ・事業に要した経費 122,500 円 ※上限額 (2,500 円 × 50 人) = 125,000 円	125,000 円			122,500 円	2,500 円	
	<input type="checkbox"/> 介護予防体操 (上限72万円) ・実施日: 9月21日 ・開催場所: 真岡公民館 ・内容(40歳以上を対象にノンケア体操を実施し、健康増進を図った。) ・延べ参加人数 60 人 ・事業に要した経費 20,000 円 ※上限額 (300 円 × 60 人) = 18,000 円	18,000 円			18,000 円	0 円	

担当課に相談し流用が認められた場合、【流用額】をご記入ください。

流用があったときに、流用元(どこから出して)と流用先(どこへ入れたか)を記載してください。
 ①小事業の中での流用
 ②推進事務費から小事業への流用

【地域福祉づくり推進事業内3~9の小事業において実績額の考え方】
 交付金は「実際の参加人数」×単価で算出した額までしか原則認められません。
 真岡いがしら温泉招待の例でいえば、事業に要した経費は50,000円ですが、延べ参加人数から算出された上限額が48,000円となっているため、事業の実績額は48,000円となります。

様式第6号（実績報告書）

（令和8年度）

区名： ○○ 区 担当者： ○○ ○○

担当連絡先： ×××-××××-××××

※実施した事業の口にチェックを入れ、実績を記入してください。

■（黄色）セルに入力をしてください。
■（青）セルは自動計算されます。

大事業名	小事業名	交付決定額 (A)	流用額 (B)	実績額 (C)	残額 (A+B)-(C)	返還額合計
地域健康づくり 推進事業	<input type="checkbox"/> 健康講話 ・実施日： 6月18日 ・開催場所： ○○公民館 ・延べ参加人数： 50 人 ・活動内容等（ ●●医師を講師に、脳卒中予防に関する健康講話を実施。 ） ・講師謝金： 20,000 円 ・推進費 12,000 円 ※上限額（200円× 50 人） = 10,000 円	30,000		30,000	0	
	<input type="checkbox"/> 健康活動 活動① ・実施日： 9月20日 ・開催場所： ○○公民館 ・延べ参加人数： 20 人 ・活動内容等（ 栄養士を講師に減塩料理教室を実施。 ） ・講師謝金 7,000 円 推進費： 10,000 円 ・原材料費： 9,000 円	46,000	5,000	51,000	0	0
	活動② ・実施日： 9月20日 ・開催場所： ○○公民館 ・延べ参加人数： 50 人 ・活動内容等（ ■■運動指導士を講師に、ラジオ体操とウォーキングを実施。 ） ・講師謝金 15,000 円 推進費： 10,000 円 ・原材料費： 円					
地域子ども すくすく 元気事業	<input type="checkbox"/> 子どもお囃子育成 ・実施日： 令和8年4月～令和9年2月（10日間） ・開催場所： ○○公民館、○○祭り会場 ・活動内容等（ 定期練習会、○○祭り参加 ） ・講師謝礼： 3,000 円 ・推進費： 4,000 円 ・弁当代： 12,600 円 ・自家用車借上謝礼： 3,000 円 ・消耗品代： 10,000 円	40,000		32,600	7,400	
	<input type="checkbox"/> 子どもふれあい・内容(三世交代流事業（グラウンドゴルフ）) 実施日： ○月○日 ・延べ参加人数： 70 人 ・講師謝礼： 円 ・推進費： 14,000 円 ・消耗品代： 1,000 円 ・自家用車借上謝礼： 円	15,000		15,000	0	
	<input type="checkbox"/> 子どもふれあい・内容(親子クリーン作戦) 実施日： ○月○日 ・延べ参加人数： 30 人 ・講師謝礼： 円 ・推進費： 6,000 円 ・消耗品代： 1,000 円 ・自家用車借上謝礼： 1,000 円	10,000		8,000	2,000	9,400
	<input type="checkbox"/> 子どもふれあい・内容(ふれあい陶芸教室) 実施日： ○月○日 ・延べ参加人数： 40 人 ・講師謝礼： 5,000 円 ・推進費： 8,000 円 ・消耗品代： 6,000 円 ・自家用車借上謝礼： 円	19,000		19,000	0	
	<input type="checkbox"/> 子どもふれあい・内容④ 実施日： 延べ参加人数： 人 ・講師謝礼： 円 ・推進費： 円 ・消耗品代： 円 ・自家用車借上謝礼： 円				0	
	<input type="checkbox"/> 子どもふれあい・内容⑤ 実施日： 延べ参加人数： 人 ・講師謝礼： 円 ・推進費： 円 ・消耗品代： 円 ・自家用車借上謝礼： 円				0	

様式第6号（実績報告書）

（令和8年度）

区名： ○○ 区 担当者： ○○ ○○

担当連絡先： ×××-××××-××××

※実施した事業の口にチェックを入れ、実績を記入してください。

■（黄色）セルに入力をしてください。
■（青）セルは自動計算されます。

大事業名	小事業名	交付決定額 (A)	流用額(B)	実績額(C)	残額 (A+B)-(C)	返還額合計
地域道路 愛護支援事業	<input type="checkbox"/> 地域道路愛護支援事業 ・消耗品代： 1,800 円 ・1回目 実施日： 6月8日 開催場所： 区内道路周辺 参加人数： 130 人 内容： 地域内道路のゴミ拾い及び道路に係る樹木の枝払い、路肩の除草 ・推進費： 26,000 円 ・機械、車両使用代：500円× 15 台 = 7,500 円 ・2回目 実施日： 8月24日 開催場所： 区内道路周辺 参加人数： 70 人 内容： 地域内道路のゴミ拾い及び道路に係る樹木の枝払い、路肩の除草 ・推進費： 14,000 円 ・機械、車両使用代：500円× 8 台 = 4,000 円	58,800		53,300	5,500	5,500
	<input type="checkbox"/> ごみ減量・資源化説明会 ・実施日： 6月23日 ・実施場所： ○○公民館 ・参加人数 25 人 ・推進費 4,000 円 ※上限額（200円× 25 人 = 5,000 円）	6,000		4,000	2,000	
	<input type="checkbox"/> ごみ減量・資源化啓発活動 活動① ・実施日： 7月12日 ・実施場所： エコステーション ・参加人数： 24 人 ・内容： エコステーション見学 ・推進費： 3,600 円 ※上限額（200円× 24 人 = 4,800 円） ・車謝礼：1,000円 × 6 台 = 6,000 円 ・消耗品代、看板作製代等 0 円	27,000		22,300	4,700	8,700
	<input type="checkbox"/> ごみ減量・資源化啓発活動 活動② ・実施日： 10月11日 ・実施場所： ○○公民館 ・参加人数： 21 人 ・内容： ごみ減量・資源化看板設置事業を実施 ・推進費： 4,500 円 ※上限額（200円× 21 人 = 4,200 円） ・車謝礼：1,000円 × 0 台 = 0 円 ・消耗品代、看板作製代等 8,500 円					
36	<input type="checkbox"/> 資源回収支援事業 内容 資源回収日に高齢者等から資源を回収し公民館へ運搬 ・実施日： 令和8年4月から令和9年2月の資源①②収集日 月2回 計22回実施。 ・実施場所： ○○公民館 ・延べ参加人数： 132 人 ・推進費： 27,000 円 ※上限額（200円× 132 人 = 26,400 円） ・車謝礼：1,000円 × 66 台 = 66,000 円 ・消耗品代： 8,000 円	102,400		100,400	2,000	
	<input type="checkbox"/> 女性参画推進会議 実施日： 6月23日 開催場所： ○○公民館 ・延べ参加人数： 30 人 内容等（市職員を講師に「地域社会と男女共同参画社会について」の座談会を開催。） ・推進費 4,000 円 ※上限額（200円 × 30 人） = 6,000 円	5,000		4,000	1,000	
自治会活性化 推進事業	<input type="checkbox"/> 加入促進 内容等（加入促進チラシを作成し、未加入者への戸別訪問を実施。） ・参加人数 25 人 ・推進費 5,500 円 ※上限額（200円 × 25 人） = 5,000 円 ・その他消耗品代等必要と認める経費： 15,000 円	20,000		20,000	0	1,000
	<input type="checkbox"/> 特別認定事業 ・事業実績（6月2日、8月5日、9月9日にふれあい農園で農作業を実施、11月2日に収穫祭を実施。延べ150人参加） ・審査の際に認められた費用： 50,000 円	100,000		50,000	50,000	50,000
推進事務費	<input type="checkbox"/> 推進事務費 ・活動実績（5月1日 地域づくり役員会15名出席、2月5日 地域づくり反省会 ○○（飲食店など）20名出席） ・会議費用（茶菓子代・飲食代・消耗品代・印刷代等） = 20,000 円 ・その他事業推進に必要な経費 5,000 円	35,000	5,000	25,000	5,000	5,000
		合計額		983,600	83,100	83,100

ミニデイホーム新規開設・改修事業実績報告書

記入例

区 名 ○○区

事業項目	申請額（円）	改修場所、実施目的、具体的内容、事業費積算内訳等
ミニデイホーム 新規開設 （限度額1,000,000円）	900,000	<p>【改修場所】</p> <p>○○公民館（真岡市荒町5191）</p> <p>【改修内容】</p> <p>今年度からミニデイホームを実施するため、高齢者が歩行しやすいよう段差改修工事を行った。また、車いすでも出入りができるように玄関にスロープの取り付けを行った。</p> <p>【費用】</p> <p>905,000円（税込）</p> <p>【工期】</p> <p>7月1日～7月10日に改修工事を実施</p> <p>※ 請求書、領収書、現地写真 を併せて提出</p>
ミニデイホーム 改修 （限度額 200,000円）	200,000	<p>【改修場所】</p> <p>○○公民館（真岡市荒町5191）</p> <p>【改修内容】</p> <p>ミニデイホームを継続的に実施するため、75歳以上の方が椅子に座って活動ができるよう、畳の部屋をフローリングに改修した。高齢者の方の安全のため、玄関に手すりを設置した。</p> <p>【費用】</p> <p>205,000円（税込）</p> <p>【工期】</p> <p>9月1日に改修工事を実施</p> <p>※ 請求書、領収書、現地写真 を併せて提出</p>

振り返りシート

記入例

令和〇年〇月〇日

真岡市長様

区名 〇〇区

代表者氏名（区長）真岡太郎

連絡先電話番号 〇〇〇-×××-△△△

記

記載欄

※区で特に力を入れた地域づくり事業の紹介、事業完了後の感想を記載してください。

（要写真・画像添付）

【実施事業名】 **くらし安全・安心活動**

【実施内容】 **地域防災マップの作成**

【実施日】 **令和〇年〇月〇日 他〇日**

【実施場所】 **〇〇公民館、〇〇区内**

【参加人数】 **延べ〇〇人**

【事業完了後の感想】

当区では、今年度新たに「くらし安全・安心活動」を活用し、未整備であった地域防災マップを作成した。

作成にあたり役員会を実施する日には、災害が発生した想定で自宅から避難所となる〇〇公民館までどのくらいで到着するかなどを確かめながら役員会を行った。

全4回の打ち合わせの中で地域防災マップを完成させ、各世帯にチラシを配布し、区として災害が起きた際の備えを区内で共有できた。

今後は災害弱者の確認や避難訓練など、災害発生時の区内の体制を作っていくたい。

事業の様子がわかる

写真 or 画像の添付

この報告書は、令和9年3月5日までに市民協働推進室に提出してください。

区 名： 区

領収書（レシート）貼付用台紙

小事業名：

領収書、またはレシートをのりで貼付してください。

領収書を貼付する台紙は、白紙などに区名、小事業名を記載いただいても差し支えございません。

安全・安心の地域づくり推進事業

(くらし安全・安心活動事業)

記入例

軽トラック等借上謝礼 領収証

実施日： 令和〇年〇月〇日

地区名： 〇〇区

氏 名	受 領 額	受 領 日	署名または 領 収 印
〇〇 〇〇	1000円	〇月〇日	〇〇 〇〇
〇〇 〇〇	1000円	〇月〇日	印
〇〇 〇〇	1000円	〇月〇日	印
〇〇 〇〇	1000円	〇月〇日	〇〇 〇〇
〇〇 〇〇	1000円	〇月〇日	〇〇 〇〇
	円		
	円		
	円		
	円		
	円		
合 計	円		

地域健康づくり推進事業

記入例

講師謝礼領収証

地区名： _____

事業名 (☑チェックする)	氏名	受領額	受領日	署名または 領収印
<input checked="" type="checkbox"/> 健康講話 <input type="checkbox"/> 健康活動	〇〇 〇〇	5,000円	〇/〇	Ⓜ
<input type="checkbox"/> 健康講話 <input checked="" type="checkbox"/> 健康活動	△△ △△	5,000円	〇/〇	△△ △△
<input type="checkbox"/> 健康講話 <input type="checkbox"/> 健康活動		円		
<input type="checkbox"/> 健康講話 <input type="checkbox"/> 健康活動		円		
<input type="checkbox"/> 健康講話 <input type="checkbox"/> 健康活動		円		
<input type="checkbox"/> 健康講話 <input type="checkbox"/> 健康活動		円		
<input type="checkbox"/> 健康講話 <input type="checkbox"/> 健康活動		円		
<input type="checkbox"/> 健康講話 <input type="checkbox"/> 健康活動		円		
<input type="checkbox"/> 健康講話 <input type="checkbox"/> 健康活動		円		
合 計		円	/	/

地域子どもすくすく元気事業

講師謝礼
自家用車借上謝礼

領収証

記入例

地区名： _____

事業名	氏名	受領額	受領日	署名または 領収印
子どもお囃子育成	〇〇 〇〇	5,000円	〇/〇	〇〇 〇〇
子どもふれあい	△△ △△	5,000円	〇/〇	印
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
		円		
合 計		円		

地域道路愛護支援事業 記入例

機 械 ・ 車 両 使 用 代 領 収 証

1回目 2回目

【使用した機械・車両に☑をつけてください】

実施日：令和 年 月 日

※事業1回あたり1人各1台まで

地区名： ○○

No.	氏 名	使用した機械・車両	支払額	署名または領収印
1	○○ ○○	<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	○○ ○○
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input checked="" type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
2	△△ △△	<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	Ⓜ
		<input checked="" type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
3		<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
4		<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
5		<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
6		<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
7		<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
8		<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
9		<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
10		<input type="checkbox"/> 機械のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 車両のみ	500円	
		<input type="checkbox"/> 機械及び車両	1,000円	
合計： 3 台 × 500円 = 1,500 円				

ごみ減量・資源化推進事業

記入例

自家用車借上謝礼

領収書

（ごみ減量・資源化啓発活動）

地区名：

〇〇区

氏名	実施日	受領額		受領日	署名または領収印
〇〇 〇〇	7月12日	1,000円×1日	1,000	〇/〇	〇〇 〇〇
〇〇 〇〇	7月12日	1,000円×1日	1,000	〇/〇	〇〇 〇〇
〇〇 〇〇	7月12日	1,000円×1日	1,000	〇/〇	〇〇 〇〇
〇〇 〇〇	7月12日	1,000円×1日	1,000	〇/〇	Ⓜ
〇〇 〇〇	7月12日	1,000円×1日	1,000	〇/〇	〇〇 〇〇
〇〇 〇〇	7月12日	1,000円×1日	1,000	〇/〇	〇〇 〇〇
		1,000円× 日			
		1,000円× 日			
		1,000円× 日			
		1,000円× 日			
		1,000円× 日			
		1,000円× 日			
		1,000円× 日			
		1,000円× 日			
合計		1,000円× 6 日	6,000		

ごみ減量・資源化推進事業

記入例

軽トラック等借上謝礼
 自家用車借上謝礼
 （資源回収支援事業）
 領収書

地区名： 〇〇区

氏名	実施日	受領額	受領日	署名または領収印
〇〇 〇〇	4/〇.〇、5/〇.〇、6/〇.〇、7/〇.〇、8/〇.〇、9/〇.〇、10/〇.〇、11/〇.〇、12/〇.〇、1/〇.〇、2/〇.〇	1,000円×22日 22,000	〇/〇	〇〇 〇〇
〇〇 〇〇	4/〇.〇、5/〇.〇、6/〇.〇、7/〇.〇、8/〇.〇、9/〇.〇、10/〇.〇、11/〇.〇、12/〇.〇、1/〇.〇、2/〇.〇	1,000円×22日 22,000	〇/〇	Ⓜ
〇〇 〇〇	4/〇.〇、5/〇.〇、6/〇.〇、7/〇.〇、8/〇.〇、9/〇.〇、10/〇.〇、11/〇.〇、12/〇.〇、1/〇.〇、2/〇.〇	1,000円×22日 22,000	〇/〇	〇〇 〇〇
		1,000円× 日		
合 計		1,000円×66日 66,000	/	/

※月8台分（88,000円）までが交付限度です。

令和8年度 地域づくり事業交付金一覧

大 事 業 名	No	性 質	小 事 業 名	交 付 金 の 項 目	単 位	限 度 額	回 数 制 限	算 出 根 拠 等	区 対 する 交 付 限 度 額	令 和 8 年 度 予 算 額
安 全 ・ 安 心 の 地 域 づ くり 推 進 事 業	1	講 話	くらし安全・安心講話	推進費	1人	200円	なし	推進費200円（※推進事業）	30,000円	3,085,000円
	2	活 動	くらし安全・安心活動	推進費 軽トラック等借上謝礼 景品代 消耗品代等	1人 1台 1回 -	200円 1,000円 3,000円 個別計算	なし なし なし なし	参加人数×推進費200円 意識高揚も兼ね標語やポスターなどを募集する場合の景品代	50,000円	
	3	講 話	高 齢 者 た す け あ い	説明会等会議費用、資料代、消耗品代等	1人	300円	なし	300円×延べ参加人数	個別計算	
地 域 福 祉 づ くり 推 進 事 業	4	活 動	ミ ニ デ イ ホ ー ム 営	打合せ会議費用、ボランティアに対する謝礼、食事等原材料の購入費用、資料代、消耗品代、備品修繕・買替等	1人	1,000円	なし	1,000円×延べ参加人数（75歳以上参加人数+役員・ボランティア等参加人数）	720,000円	57,943,000円
	5	-	ミ ニ デ イ ホ ー ム 設 計	バリアフリー化改修工事・設備工事、備品購入費用	区	1,000,000円	1回	実施計画書、設計書（配置図、平面図）、見積書、現地写真を提出。提出資料により審査決定。（1区限り）	1,000,000円	
	6	-	ミ ニ デ イ ホ ー ム 修 繕	バリアフリー化改修工事	区	200,000円	1回	実施計画書、設計書（配置図、平面図）、見積書、現地写真を提出。提出資料により審査決定。（5区限り）	200,000円	
	7	活 動	真 岡 い が し ら 温 泉 招 待	個人自家用車の借上謝礼、引率者の入場料補助、個室使用料、カラオケ使用料、資料代、消耗品代、飲食代等	1人	1,500円	1回	1,500円×延べ参加人数（75歳以上参加人数+引率者参加人数）	個別計算	
	8	活 動	敬 老 会 開 催	資料代、消耗品代、記念品代、飲食代等	1人	2,500円	1回	2,500円×75歳以上高齢者数	個別計算	
	9	活 動	介 護 予 防 体 操	推進費、講師謝礼、資料代、消耗品代等	1人	300円	なし	300円×40歳以上延べ参加人数	720,000円	
地 域 健 康 づ くり 推 進 事 業	10	講 話	健 康 講 話	講師謝礼（医師） 講師謝礼（保健師・看護師・歯科衛生士・栄養士・食生活改善推進員等） 推進費	1人 1人 1人	20,000円 7,000円 200円	なし なし なし	30,000円限度（パンフレット等消耗品費を含む） 講師謝金：職種により左記金額のとおり 参加人数×推進費200円	80,000円	3,165,000円
	11	活 動	健 康 活 動	講師謝礼（健康運動指導士・スポーツインストラクター等） 講師謝礼（栄養士・食生活改善推進員等） 原材料費（調理実習時のみ適用） 推進費	1人 1人 1人 1人	16,000円 7,000円 500円 200円	なし なし なし なし	80,000円限度（パンフレット等消耗品費を含む） 講師謝金：職種により左記金額のとおり 参加人数×原材料費500円 参加人数×推進費200円	40,000円	
地 域 子 ども 元 気 事 業	12	活 動	子 ども お 囃 子 育 成	講師謝礼 推進費 行事等参加者の昼食代 個人自家用車の借上謝礼 消耗品代	1人 1人 1人 1台 1回	5,000円 200円 700円 1,000円 個別計算	なし なし なし なし なし	講師人数×講師謝礼5,000円以内 ※外部講師のみ 参加人数×推進費200円 参加人数×昼食代700円 ※大人も対象に含める 借上自家用車台数×1,000円	40,000円	3,800,000円
	13	活 動	子 ども ふ れ あ い	講師謝礼 推進費 個人自家用車の借上謝礼 消耗品代	1人 1人 1台 1回	5,000円 200円 1,000円 個別計算	なし なし なし なし	1事業の限度額は30,000円（実施回数制限なし） 講師謝礼：講師人数×講師謝礼5,000円以内 推進費：参加人数×推進費200円 個人自家用車の借上謝礼：借上自家用車台数×1,000円	60,000円	
地 域 道 路 愛 護 支 援 事 業	14	活 動	地 域 道 路 愛 護 事 業	消耗品代	1回	1,000円	2回	限度額は実施回数×1,000円（2回が限度） 1回につき参加延べ人数が100人を超える場合は、超えた人数×10円加算	個別計算	2,736,000円
				機械・車両使用代	1台	500円	2回	機械使用台数×500円（1回につき1人1台まで） 車両使用台数×500円（作業で出た草やごみ等を運搬に使用する車両のみ、1回につき1人1台まで） ※1人で機械、車両共に使用した場合1,000円		
ごみ減量・資源化推進事業	15	講 話	ごみ減量・資源化説明会	推進費	1人	200円	なし	参加人数×推進費200円	30,000円	2,232,000円
	16	活 動	ごみ減量・資源化啓発活動	推進費 個人自家用車の借上謝礼 消耗品代、看板作製代等	1人 1台 区	200円 1,000円 個別計算	なし 1回 なし	参加人数×推進費200円 ※1台あたり3名	50,000円	
	17	活 動	資 源 回 収 支 援 事 業	推進費 軽トラック等借上謝礼 消耗品代	1人 1台 区	200円 1,000円 10,000円	月16人 月8台 なし	参加人数×推進費200円	120,000円	
自治会活性化推進事業	18	講 話	女 性 参 画 推 進 会 議	推進費	1人	200円	なし	参加人数×推進費200円	30,000円	515,000円
	19	活 動	自 治 会 加 入 促 進	推進費 消耗品費等必要と認める経費	1人 区	200円 個別計算	なし なし	参加人数×推進費200円 印刷代、消耗品代などチラシや資料作成等に要する費用	50,000円	
特 別 認 定 事 業	20	-	特に、個性豊かな地域づくり事業の推進費用		区	100,000円	なし	申請書により審査決定 （謝礼、茶菓子代等は、原則他事業の基準に準拠する）	100,000円	1,000,000円
推 進 事 務 費	21	-	推 進 事 務 費	会議費用（茶菓子代、飲食代、消耗品代、印刷代等）、 その他事業推進に必要な経費	-	個別計算	右の金額の範囲内	（区長+町会長+組長+公民館長等）×500円 +本事業以外の交付申請額計×5%（100円未満切捨て）	個別計算	5,224,000円
交付金合計									79,700,000円	